

# 物を大切にする心

種田山頭火

青空文庫



物を大切にする心はいのちをはぐくみそだてる温床である。それはおのずから、神と偕ともにある世界、仏に融け入る境地へみちびく。

先年、四国霊場を行乞巡拝したとき、私はゆくりなくHという老遍路さんと道づれになった。彼はいわゆる苦勞人で、職業遍路（信心遍路に対して斯く呼ばれる）としては身心共に卑しくなかつた。いかなる動機でそういう境涯に落ちたかは彼自身も語らなかつたし私からも訊ねなかつた。彼は数回目の巡拝で、四国の地理にも事情にも詳しかつた。もらいの多少、行程の緩急、宿の善悪、いろいろの点で私は教えられた。二人は毎日あとになりさき

になつて歩いた。毎夜おなじ宿に泊つて膳を共にし床を並べて親しんだ。阿波——土佐——伊予路を辿りつつあつた或る日、私たちは路傍の石に腰かけて休んだ。彼も私も煙草入を取り出して世間話に連日の疲労も忘れていたが、ふと気づくと、彼はやたらにマッチを摺っている。一服一本二本或は五本六本である！

——ずいぶんマッチを使いますね。

——ええ、マッチばかり貰つて、たまつてしょうがない。売つたつていくらにもならないし、こうして減らすんです。

彼の返事を聞いて私は嫌な気がした。彼の信心がほんものでないことを知り、同行に値いしないことが解り、彼に対して厭悪と憤懣との感情が湧き立つたけれど、私はそれをぐつと抑えつけて

黙っていた。詰なつたとて聞き入れるような彼ではなかったし、私としても説法するほどの自信を持っていなかった。それから数日間、気まずい思いを抱きながら連れ立っていたが、どうにもこうにも堪えきれなくなり、それとなく離ればなれになってしまったのである。その後、彼はどうなったであろうか、まだ生きているだろうか、それとも死んでしまつたろうか、私は何かにつけて彼を想い出し彼の幸福を祈っているが、彼が悔い改めないかぎり、彼の末路の不幸は疑えないのである。

マツチ一本を大切にする心は太陽の恩恵を味解する。日光のありがたさを味解する人は一本のマツチでも粗末にはしない。

S夫人はインテリ女性であつた。社交もうまく家政もまずくなかつた。一見して申分のないマダムであつたけれど、惜むらくは貧乏の洗礼を受けていなかった。とあるゆうべ、私はその家庭で意外な光景を見せつけられた。——洗濯か何かする女中が水道の栓をあけっぱなしにしているのである。水はとうとうとして溢れ流れる。文字通りの浪費である。それを知らぬ顔で夫人は澄ましかんでいるのである。——女中の無智は憐むべし、夫人の横着は憎むべし、水の尊さ、勿体なさ……気の弱い私は何ともいえないでその場を立ち去つた。

彼女もまた罰あたりである。彼女は物のねうちを知らない。貨幣価値しか知らない。大粒のダイヤモンドといえども握飯一つに

如<sup>し</sup>かない場合があることを知らない。

大乘の見地からいえば、一切は不増不減であり、不生不滅である。浪費も節約もなく、有用も無駄もない。だが、人間として浪費は許されない。人間社会に於ては無駄を無くしなければならぬ。物の価値を尊び人の勤労を敬まわなければならないのである。常時非常時に拘らず、貴賤貧富を問わず、私たちの生活態度は斯くあるべきであり斯くあらざるを得ない。

物そのもののねうち、それを味うことが生きることである。物そのものがその徳性を発揮するところ、そこが仏性現前の境地である。物の徳性を高揚せしめること、そのことが人間のつとめ

ある。

私は臆面もなくH老人を責めS夫人を責めて饒舌であり過ぎた。それはすべて私自身に向って説いて聞かせる言葉に外ならない。

（「広島逋友」昭和十三年九月）



# 青空文庫情報

底本：「山頭火随筆集」講談社文芸文庫、講談社

2002（平成14）年7月10日第1刷発行

2007（平成19）年2月5日第9刷発行

初出：「広島逋友」

1938（昭和13）年9月

入力：門田裕志

校正：仙酔あびす

2008年5月19日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 物を大切にする心

種田山頭火

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>